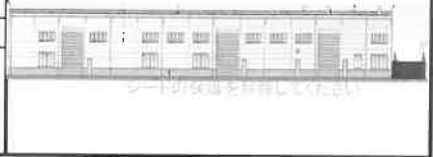


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	精華台五丁目工場建設工事(エー)	階数	地上1F
建設地	京都府相楽郡精華町精華台5丁目1	構造	S造
用途地域	準工業地域、市街化区域	平均居住人員	8人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2020年9月14日
敷地面積	26,320 m ²	作成者	寺川幸子
建築面積	3,060 m ²	確認日	2020年9月14日
延床面積	3,150 m ²	確認者	定森純一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合		
サービス性能に配慮した計画。 節水や解体時の分別が容易な工法を採用する等、環境保全に努めている。		その他
Q1 室内環境 工場用途のみのため対象外。	Q2 サービス性能 給排水配管材に更新期間が長い材を採用。 0.1以上0.3未満の壁長さ比。 階高にゆとりを持ち、将来の用途変更可能性を考慮。	Q3 室外環境(敷地内) 中高木を含む緑化により、良好な室外環境を計画。
LR1 エネルギー LED照明設備等、高効率設備の採用により、省エネルギー性に配慮した計画。	LR2 資源・マテリアル 解体時の分別が容易なLGS工法を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を全く排出しない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される